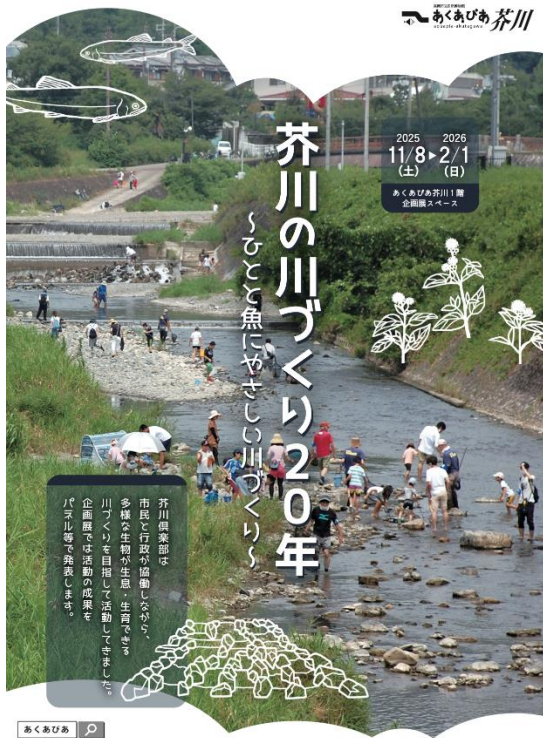


2025年11月11日  
高槻市立自然博物館  
担当：山本忠雄

## 企画展「芥川の川づくり 20年～ひとと魚にやさしい川づくり～」を開催します



芥川の川づくり 20年 ~ひとと魚にやさしい川づくり~  
2025年11月8日(土)~2026年2月1日(日)

特定外来生物 ミズヒマワリ との戦い  
自由移動できる川づくり  
川と人をつなぐ

企画展 芥川のエえとこ30選  
「生き物にやさしい川づくり」を始めて20年が経ち、アツガのぼるようになった芥川。その芥川の魅力をもっと多くの市民に知って欲しいから「場所・風景」、「生き物・自然」、「活動・ひとのつながり」などテーマ別に「芥川のエえとこ30選」を募集し選考しました。企画展では寄せられた多くのメッセージやイラスト、写真を展示します。

2025年11月8日(土)~2026年2月1日(日) 会場 あくあびあ芥川1階 企画展スペース

芥川倶楽部設立20周年記念シンポジウム  
1. 話 題 提 供 ● 名古屋工業大学教授 菅場 祐一氏  
飯田「気候変動下でひとと生き物を守ること」  
● 日本シンキセンター附属世界ワイルド動物園 動物園長 下村 実氏  
飯田「生き物・自然、とんでも面白いくど心配事もある」  
2. 「芥川のエえとこ30選」解説  
3. パネルディスカッション ● コーディネーター：森野忠彦さんと自然の博物館館長 中瀬 勉氏  
● パネラー：菅場 祐一氏、下村 実氏

2026年2月28日(土) 14:00~16:30 会場 クロス/1階高槻8階 イベントホール  
主催：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク(※お問い合わせ先)

● 各イベントのお問い合わせ TEL: 072-692-5041

共 催：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク  
(※お問い合わせ先)

開催期間 10:00~17:00 ※土曜・日曜は15:00  
会場 高槻市立自然博物館1階(高槻市 寺元2-1-1) 高槻市立自然博物館1階(高槻市 寺元2-1-1)  
休 日 月曜日  
入 場 料 無料(中学生以上は100円) ※1日最大1000名  
※観覧券は事前予約が必要

あくあびあ 芥川  
あくあびあ  
〒599-1042 高槻市南千台3丁目59番1号 TEL 072-692-5041 FAX 072-592-7864  
info@aquapia.net https://aquapia-akutagawa.blog.jp/ X @aquapia\_akutagawa

高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）では、2025年11月8日(土)から2026年2月1日(日)の期間、芥川の川づくりをテーマにした企画展「芥川の川づくり 20年～ひとと魚にやさしい川づくり～」を開催いたします。

### タイトル：企画展「芥川の川づくり 20年～ひとと魚にやさしい川づくり～」

開催期間：2025年11月8日(土)～2026年2月1日(日)

会 場：高槻市立自然博物館1階企画展スペース

### 概 要：

初夏から秋にかけて川の中を覗き込むと多くの魚たちの中に、大阪湾から芥川にのぼってきた天然アユを普通に見ることができるようになりました。芥川の“川の中には魚の道”があるのです。芥川では市民と行政（大阪府、高槻市）、そして自然博物館が協働しながら、多様な生物が生息・生育できる川づくりを目指して活動してきました。その成果の一つが「魚みちづくり」です。

そして、芥川の水辺を覆いつくす勢いで大繁殖していたミズヒマワリも、あと一息で駆除できるところまでこぎつけました。活動は楽しくなければ長続きしません。おとなのための魚とり、芥川たのしみ隊、芥川ウオーキングなど、川と人をつなぐ取り組みにも力を入れてきました。

本企画展では芥川倶楽部と共催で「芥川の川づくり」20年間の取組みをパネル、写真等で分かりやすく展示しています。

## 展示の見どころ

- ・正面には芥川の大模式図

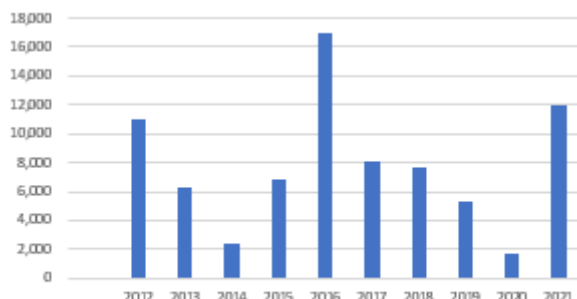
正面には芥川の模式図が壁いっぱいに広がっています。中央には「芥川のアユの1年」の映像（約5分間）を、右側に「魚みちを調べてみた」、左側には「芥川に帰ってきたアユ」をテーマにした展示があります。



- ・魚みちを調べてみた

### ①芥川にのぼってきた天然アユ、10年間の調査記録

2011年に芥川大堰の魚みちが完成し、天然アユが芥川にのぼってくるようになりました。2012年から10年間、延べ1,337人ものボランティアが参加して、芥川大堰の魚みちをのぼってくるアユを目視で“ひたすら”数を数えました。その記録をグラフ等で展示しています。



芥川大堰をのぼったアユの数

## ②どんな魚たちがのぼってきたかな？

今回の展示では、淀川から芥川にのぼってきた魚たちに最初に立ちはだかる高い段差「芥川大堰の魚みち」と、特にこだわってつくった「川原の石で作った魚みち」の調査結果を紹介しています。



定置網による遡上調査  
(河川管理者の許可を得ています)



のぼってきた魚たち

### ・芥川に帰ってきたアユ

芥川のアユの特徴を分かりやすく紹介するとともに、アユが産卵しやすいように川底を畑のように耕したり、アユの産卵場所を調査するなどの市民活動の様子をパネルと写真で紹介しました。



芥川のアユは群れている  
(あくあぴあ付近)

### ・芥川の恵みを未来へ

あくあぴあの部活動の一つ「芥川たのしみ隊」のメインの活動は、あくあぴあ周辺の魚の生息状況の調査です。活動開始から 8 年が過ぎました。その間に蓄積された魚類調査結果をまとめて展示しました。この活動に参加していた、当時 小学生だった子どもも大学生など青年になり、次の芥川倶楽部を担う人材に成長しています。

芥川倶楽部は、石や竹などの自然の材料を使って、魚や貝、水生昆虫などの水生生物のすみかをつくる「小さな自然再生」に取り組んでおり、竹蛇籠の実物を展示しました。



・ミズヒマワリとの戦い

20 年前、芥川ではミズヒマワリ（特定外来生物）が大繁殖していました。2006 年から駆除が始まりました。ミズヒマワリによってヘドロ化した所をひたすら人力で泥だらけになりながら取り除く、根気と忍耐がいる活動が続きました。そして、2017 年に大阪府管轄（城西橋～塚脇橋）の 5km 区間の撲滅宣言を出すことができました。

**これがミズヒマワリだ！**



川面をおおうミズヒマワリ



活動状況

**【共催】**

芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称；芥川倶楽部

高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川 基本情報

○名称 高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川（2015年4月1日より名称変更しました）

○開館時間 10:00～17:00

○入館料 無料

○休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日に休館）

○駐車場 芥川緑地駐車場 8：00～18:30（6月～9月は19：30まで）

1時間100円（1日最大400円）

○交通 電車 JR 高槻駅 北5番のりば「関西大学」「平安女学院大学東」行き 乗車約15分「南平台小学校前」下車すぐ

○所在地 〒569-1042 大阪府高槻市南平台5-59-1

○電話 072-692-5041

○FAX 072-692-7864

○ホームページ

<https://www.city.takatsuki.osaka.jp/event/140521.html>

○ブログ <https://aquapia-akutagawa.blog.jp/>

○E-mail [info@aquapia.net](mailto:info@aquapia.net)

○指定管理者 あくあぴあ芥川共同活動体（NPO 法人芥川倶楽部、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター）

以上